

ここにいま

平成29年度西朝明中学校
学校通信 第3号
平成29年5月23日

携帯電話・スマートフォンは大変、便利な物です。家庭に固定電話が契約されていなくて、携帯電話しかご家庭に連絡できないというケースも珍しくなくなってきました。便利な携帯電話ですが、

- ① 非常に高価な物です。中学生にどうしても必要な物でしょうか？
- ② トラブルがなくなるのは何故でしょうか？
- ③ 被害者になってしまうだけでなく、知らない間に加害者にもなってしまふのは防げないのでしょうか？
- ④ 課金等における詐欺の被害に遭わないための知識はあるのでしょうか？
- ⑤ 利用料金は、経済的に苦しいことになっていないのでしょうか？



というようなことを思います。学校に限らず公共の場では、マナーとして携帯電話の持ち込みや使用を禁じている所があります。呼び出し音などで迷惑がかからないように、マナーモードへの切り替えや、電源オフの配慮ができることが最低限必要です。気になるのは、トラブルを防ぐための「ルール」を各家庭で作って確認していただいているかということです。その「ルール」は、親子で1つずつ確認しながら作っていただき、きちんと守るように決められた時期に振り返っていただいているのでしょうか？さらに付け加えるならば、携帯電話・スマホのルールだけでなく、ネットを利用する時にも、ルールは確認の必要があります。生徒たちを取り巻く環境は、親の世代が中学生だった頃と比べると、随分、複雑になっているとも感じます。その頃は、携帯電話はなく、またそれほど家庭に連絡をとることもなく、公衆電話はあちらこちらに沢山、あったものです。今、校区に公衆電話はいくつあるのでしょうか？というほど、少なくなっています。それも携帯を所持する理由の一つなのかもしれません。

さて、改めて「家庭ルール」の作り方の一例をご紹介します。是非、お子様とともにご家族で携帯電話・スマホの使い方のルールを考え、作成する参考にしてください。もう既にルールはありますというご家庭では、配慮に漏れがないのかを確かめてください。

家庭ルールの作り方の一例（順不同です）

（特にきまりはありません、ご家庭の実情に合わせてお考えください。）

マナー 相手の気持ち、都合を考えて行動することは大切です。

- ① 公共施設（図書館・電車・病院・店舗）などでの利用はしない。
- ② 相手の迷惑にならないように使用時間を決める。
- ③ 歩きながらの利用はしない。（自転車走行中も不可です。）
- ④ 食事中には触らない。



時間管理 利用時間・利用時刻などを決め、計画性のある生活をしましょう。

- ⑤ ○○時以降は電源を切る。 ○○に入る数のご家庭で異なります。21?20?22?
- ⑥ 自分の部屋に携帯電話・スマホを持ち込まない。

金銭感覚 利用限度額を越えなければよい、無料だからよいではありません。

- ⑦ 有料サイト契約は、その都度親の了解を得る（ダウンロードなど）
- ⑧ 毎月の携帯電話の利用料金明細を必ず親子で確認する。
- ⑨ 有料のアプリを入れたり課金をしたりする場合は、必ず親の了解を得る。

コミュニケーション 文字だけで相手に気持ちを伝えることは意外と難しい。

- ⑩ 本当に大切なことは、携帯電話・スマホを通してではなく会って伝える。
- ⑪ メールやメッセージは読む人の立場になって読み返してから送る。
- ⑫ 噂話等、自分が言われたら嫌だと思えることは書かない。



（SNS・グループトークの書き込みも同じです。）

法律 学校で法律を学ぶ単位はありません。いつもニュース等を見て、親子で話し合う機会を持つてください。何がいけないのか、誰にどんな迷惑がかかるのか、どんな責任を負うのか自覚を持つことが大切です。



- ⑬ ツイッターやフェイスブックなどへの無責任な投稿は、社会に多大な被害を引き起こし、損害賠償請求される可能性があるので絶対しない。
- ⑭ 誹謗中傷の書き込みをしない。
- ⑮ 大げさな表現、根拠のない情報の発信はしない。
- ⑯ 自転車を運転しながらの携帯電話の使用は禁止されています。
- ⑰ 著作権を守り、違法ダウンロードしない。

役割・責任 自分のやらなければならないこと（宿題・手伝い等）をしたり、自分の責任を果たしてこそ、権利を有することを理解してください。

- ⑱ 勉強中は携帯電話・スマホを触らない。
- ⑲ やるべきことを優先する。

自己防衛 外敵から身を守ること、攻撃されるような言動を慎むことも重要です。情報発信の危険と責任を理解しましょう。

- ⑳ WEB（インターネット）上に個人情報（名前・住所・電話番号・写真など、本人が特定されてしまう情報）を書き込まない。
- ㉑ フィルタリング契約する。
- ㉒ ウィルス対策ソフトを入れる。
- ㉓ IDやパスワードを安易に人に教えない。

家庭ルールをいざ、作ろうとしてもなかなか、整理はつきにくいものですから、是非参考にしてみてください。ご家庭の日常生活と照らし合わせてお考えいただくと作りやすいと思います。

必ず、親子でよく話し合ってください。どんなにきちんとしたルールでも、一方的に押し付けられたとお子様を感じていたら、長続きしないと思われます。お互いが納得し、金銭感覚を養ったり、マナーを学んだり、時間の管理ができるようになったり、というような学びが得られるルールを作ってください。

